

埼玉版SDGsの推進

県民や企業、NPO、大学、金融機関、市町村など多様なプレイヤーとの協働を通じて、あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる「日本一暮らしやすい埼玉」の実現を目指す



埼玉県ESG債の発行目的

- 「埼玉県5か年計画」では、2040年を見据えた埼玉県の目指す「3つの将来像」を掲げ、将来像の実現に向けた基本姿勢として、「**埼玉版SDGsの推進**」を計画の全施策を貫く、横断的な視点として位置付け
- 3つの将来像の実現に向けた施策・取組を着実に推進するため、**埼玉県ESG債**によりその財源を確保

埼玉県ESG債

環境(E: Environment)、社会(S: Social)、ガバナンス(G: Governance)

グリーン
プロジェクト

環境問題の解決

ソーシャル
プロジェクト

社会的課題の解決

サステナビリティボンド

【サステナビリティボンド・ガイドライン 2021(国際資本市場協会※)による定義】

サステナビリティボンドとは、調達資金の全額がグリーンプロジェクト及びソーシャルプロジェクトに充てられる債券である。 ※国際資本市場協会(ICMA)：世界の金融機関等が加盟する国際機関

令和5年度の発行実績(法人向け)

- 290億円の発行額に対し、**169者**から**約1,847億円(約6.4倍)**の**購入意向**を確認
- 投資家の半数が県内の地元の投資家
- 地方債サステナビリティボンドで初めてプレミアム2bpを達成

法人投資家向け	
銘柄名称	埼玉県第2回公募公債 (サステナビリティボンド・10年)
発行額	290億円
年限	10年 (満期一括)
利率	0.782%
利率決定日	令和5年8月4日 (金)
発行日	令和5年8月29日 (火)
引受会社	野村証券/みずほ証券/大和証券
最終需要額	169者 1,847.1億円 (R4:58者、593億円)
うち県内投資家	87者 (R4:33者)
うちSDGsパートナー	23者 (R4:14者)
投資表明	150者 (R4:55者)

令和5年度の発行実績(個人向け)

- 10億円に対し、**353者(1者あたり約283万円)**が購入
- 好評により募集開始後**6営業日目**で完売

個人投資家向け	
銘柄名称	埼玉県第1回公募公債 (サステナビリティボンド・10年・個人向け)
発行額	10億円
年限	10年 (満期一括)
利率	0.782%
利率決定日	令和5年8月4日 (金)
募集期間	令和5年8月7日 (月) ~28日 (月) ※15営業日
引受会社	野村証券/みずほ証券/大和証券
購入者数	353者
完売日	6営業日目 (8/15) で完売

埼玉県ESG債インパクトレポート

- 埼玉県ESG債で調達した資金の充当状況や事業効果などを記載した「埼玉県ESG債インパクトレポート」を県HPで公表しています。



<埼玉県ホームページに掲載>

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0103/esgsaihakkou.html>

令和6年度の発行計画

区分

サステナビリティ債券

年限

10年(満期一括)

発行額

300億円 ※うち20億円を個人投資家向けに発行

発行月

令和6年8月

	法人投資家向け	個人投資家向け
発行額	280億円	20億円
購入対象	法人	(1)埼玉県にお住まいか、お勤めの個人 (2)埼玉県内に事業所のある法人・団体 (3)埼玉県を応援する個人・法人等
購入単位	1,000万円単位	1万円単位
購入限度額	上限なし	法人・団体は1,000万円まで ※個人は上限なし
利率決定日	令和6年8月9日(予定)	
募集期間	—	令和6年8月13日～29日(予定)
引受会社	野村証券、みずほ証券、大和証券 ※個人向けの一部を楽天証券で販売	

グリーンプロジェクトの主な充当事業

災害・危機に強い埼玉の構築

治水・治山対策の推進



調節池整備

河川改修や調節池の整備・質的改良

河道や調節池の整備を計画的に推進し、治水安全度の向上を図る。

豊かな自然と共生する社会の実現

みどりの保全と創出



緑地の公有地化

身近な緑の保全

市町村や環境団体と協働した緑地の公有地化を行う。

治水・治山対策の推進



砂防関係施設整備

砂防関係施設の整備

砂防関係施設整備を計画的に推進し、土砂災害の防止や地域の安全確保を図る。

儲かる農林業の推進

林業の生産性向上と県産木材の利用拡大



森林管理道

森林管理道や作業道の整備促進

適切な森林整備の推進や林業経営の効率化及び山村生活環境の改善などを図るため、その基盤となる森林管理道を整備する。

ソーシャルプロジェクトの主な充当事業

災害・危機に強い埼玉の構築

危機管理・防災体制の再構築



新 防災ヘリコプターの更新 による消防防災力の充実

県民の安全・安心を確保するため、機体の更新を行い消防防災力の充実を図る。

防災ヘリ「あらかわ2」の更新

子育てに希望が持てる社会の実現

児童虐待の防止・社会的養育の支援



朝霞児童相談所（仮称） の新設

管轄人口の平準化、迅速かつきめの細かい対応を図るため、朝霞市内に県設置8番目の児童相談所（一時保護所付設）を整備する。

➤ 令和7年度開所予定

朝霞児童相談所(仮称)
イメージ

大地震に備えたまちづくり



公共施設の耐震化の 促進

頻発する巨大地震から生徒の安心安全を確保するため、生徒が日常的に利用する県立学校施設の耐震化を実施する。

体育館の耐震化
(ブレース補強)

未来を創る子供たちの育成

質の高い学校教育の推進



安全で快適な学習環境の 整備・充実

県立高校にスロープ設置やエレベーター設置等のバリアフリー化を実施し、安全で快適な学習環境の充実を図る。

バリアフリー化